



日本の野鳥カレンダー2024

撮影者コメント

撮影者のコメントや撮影エピソードを掲載しています。カレンダー写真と一緒に楽しみください。



表紙

ファインダー越しに見慣れたはずのキジバトが やわらかい朝のひかりに新緑の河川敷が一層引き立ててくれました。

撮影 * 敷地 富士雄
撮影場所 * 埼玉県 本庄市

キジバト

学名: *Streptopelia orientalis*
英名: Oriental Turtle Dove



1月

子供の頃の遊び場は、山川の自然だったが、キツツキ類を見たことはなかった。だが、岩手に移り住むとアカゲラたちとの距離が一気に縮まった。

雪景色の雑木林は、アカゲラに良く似合う。その写真を撮りたいと数年取り組んだ。いつものように待っていると、ついに近くにやってきた。

撮影 * 千葉 寿
撮影場所 * 岩手県 滝沢市

アカゲラ

学名: *Dendrocopos major*
英名: Great Spotted Woodpecker



2月

近年ヒレンジャクは、初冬から渡って来る群れが比較的に多くなって来てます。今シーズン、ヒレンジャクの群れに遅れて渡来してきたキレンジャクの群れが共に行動する頃には、ナナカマドの実も少なくなり事前に目を付けていた綺麗な背景の中で実を啄むレンジャクを撮影することが出来ました。

撮影 * 内藤 滋

撮影場所 * 北海道 札幌市

キレンジャク

学名: *Bombycilla garrulus*
英名: Bohemian Waxwing

ヒレンジャク

学名: *Bombycilla japonica*
英名: Japanese Waxwing



3月

ある年の1月18日、我家の植込みを見ていると「アレッ!」「マミチャジナイだ」我目を疑った。この季節にこんな所に…いつまでいるのか注意深く見守っているうちに早や3月。14日~3月17日は晴れ、18日は朝から雨。この雨で最後と予想通り越冬最後の日となった。

撮影 * 金本 調作

撮影場所 * 岡山県 津山市

マミチャジナイ

学名: *Turdus obscurus*
英名: Eyebrowed Thrush



4月

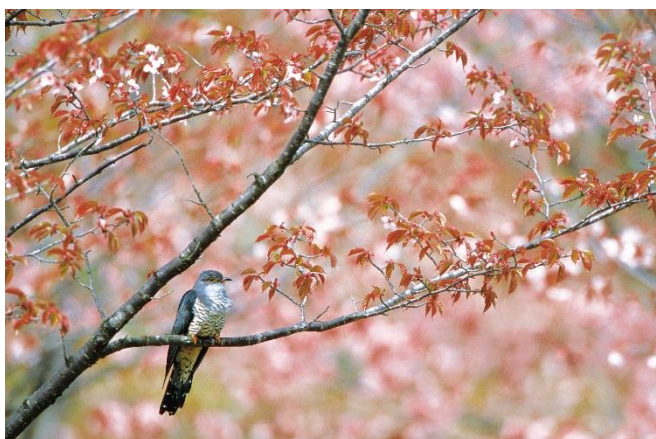
みんなに愛される Public なトラフズク。それとなく遠くから我が子を見守る姿に出会えました。永代続いて欲しい情景と想いつつシャッターを切ります。

撮影 * 井坂 瑞

撮影場所 * 埼玉県 加須市

トラフズク

学名: *Asio otus*
英名: Long-eared Owl



5月

北海道のサクラの開花は例年4月下旬からだ。芽吹いたばかりの木々にはまだ虫は少なく、サクラの花に集まる虫や草地の虫やミミズを求めてツツドリがやってくる。この作品は、5月14日の撮影。サクラの花盛りが過ぎて葉桜となり、桜色の背景にツツドリを狙った1枚です。

撮影 * 吉田 幸弘

撮影場所 * 北海道 恵庭市

ツツドリ

学名: *Cuculus optatus*
英名: Oriental Cuckoo



6月

野鳥の居る環境とバックのボケ味を最大限に生かせる場所を選び安全な距離を保って待っていると警戒も無く鳥さんがやって来てくれますね。ここでシャッターを押しちゃいます。

撮影 * 今 勝憲

撮影場所 * 愛知県 豊明市

コアジサシ

学名: *Sternula albifrons*
英名: Little Tern



7月

暑くなり鳥の活動も一段落する7月の下旬、田んぼの一角にポツンとある小さなひまわり畑を訪ねてみた。するとこの季節になっても元気な小鳥セッカに会うことができた。セッカは鳴きながら空を駆け回るように飛び、時々ひまわりの上で休憩をしていた。そんなセッカにレンズを向けた。夏らしい鮮やかな花と共にセッカを撮影することができた。

撮影 * 野口 正裕

撮影場所 * 埼玉県 川越市

セッカ

学名: *Cisticola juncidis*
英名: Zitting Cisticola



8月

真夏の城ヶ崎海岸にある断崖絶壁の上が、アマツバメの撮影場所です。昼前、段々と気温が上がる頃、群れとなったアマツバメが、バチバチという羽音を響かせながら、目の前を急旋回するので、撮影する方も、汗まみれになり又、足元には充分気を付けながら撮影に挑まなくてはなりません。さながら修行のようでした。

撮影 * 野口 好博

撮影場所 * 静岡県 伊東市

アマツバメ
学名: *Apus pacificus*
英名: Pacific Swift



9月

仲秋の頃、粃殻が撒かれたストライプ柄の畑で忙しく動く野鳥に目が留まりました。コチドリです。豊かな土壌は餌も豊富なのでしょう。そっと観察していると採餌しながらこちらに向かって歩いてきます。それはまるで横断歩道を渡っているかの様でとてもユーモラスなシーンでした。

撮影 * 三島 明美

撮影場所 * 栃木県 栃木市

コチドリ
学名: *Charadrius dubius*
英名: Little Ringed Plover



10月

国内では繁殖していないそうですが、秋の渡りの時期には、多くのエゾビタキが日本全国を通過していきます。実の成る樹木を探しながら、この鳥が立ち寄ってくれるチャンスを持つことも毎秋の楽しみになっています。

撮影 * 宮沢 安二郎

撮影場所 * 千葉県 市川市

エゾビタキ
学名: *Muscicapa griseisticta*
英名: Grey-spotted Flycatcher



11月

ヨシ原が広がる秋の仏沼は、ヨシやススキの穂が白く輝き
奇麗で、その風景の中で、野鳥を撮影しようと早朝に出
かけました。ちょうど、この頃に渡ってくるオオジュリンが、
あちらこちらでススキの穂をついばんで居ました。思い描
いていたような、逆光のススキの穂をついばむオオジュリ
ンを見つけ撮影しました。

撮 影 * 宮 彰 男

撮 影 場 所 * 青 森 県 三 沢 市

オオジュリン

学 名: *Emberiza schoeniclus*
英 名: Common Reed Bunting



12月

この写真は、干潟広がる浜に流れる小さな川沿いの樹木
に止まる謎の鳥を、
水辺の紅葉する木々に潜む鳥、写真としてもいい構成だと
思い撮りました。
帰宅して、図鑑でこの鳥の名を探してびっくり、ゴイサギは
自宅付近でもよく見ますが、羽色の違う幼鳥は初めての遭
遇でした。

撮 影 * 吉 本 直 志

撮 影 場 所 * 福 岡 県 糸 島 市

ゴイサギ

学 名: *Nycticorax nycticorax*
英 名: Black-crowned Night Heron

公益財団法人 日本鳥類保護連盟

Japanese Society for Preservation of Birds

〒166-0012

東京都杉並区和田 3-54-5 第10 田中ビル 3 階

TEL ◇ 03-5378-5691 FAX ◇ 03-5378-5693

HP ◇ <https://www.jspb.org/>

